

# 花と緑の銀行だより

214号 2020.1



五ケみち花壇 砺波市庄川町 2019.7月

## 目次

- ・ 活動事例 うるおいと安らぎに満ちた地域づくりを（小矢部支店 水島地方銀行 蟹谷茂昭） …… 2
- ・ 「全国花のまちづくりコンクール」 で入賞 …… 3
- ・ とやまの花壇 ～五ケみち花壇～ …… 4
- ・ ステップアップ研修に参加して（高岡支店 戸出地方銀行 太田 清） …… 5
- ・ この人あり 花のあるまちづくり（黒部支店 生地地方銀行 吉田 允） …… 6
- ・ 報告・お知らせ 1月～3月の主なイベントなど …… 6

# うるおいと安らぎに満ちた地域づくりを

花と緑の銀行 小矢部支店

水島地方銀行 頭取 蟹谷茂昭

富山県西部を流れる小矢部川と庄川が造った扇状地、砺波平野のほぼ中央に水島地方銀行が活動する水島地区は位置します。田園地帯にひととき目立つメルヘン建築、奈良国立博物館を模した水島公民館周辺には、保育所・スポーツセンター・グラウンド・公園があり、地区の文教ゾーンとなっています。

この一帯には、当地方銀行が管理する2つの花壇と28基のプランターがあり、保育園児の送迎や、公民館行事の参加、スポーツセンターを利用するために訪れる人々にとって、季節を感じ味わう、心のオアシスとなっています。

## 1 活動方針

当地方銀行は、前身の「水島フラワーレーングループ」として昭和58年に活動開始以来、今日まで、花と緑を介し、うるおいと安らぎに満ちた、明るく心豊かな地域づくりを目標に、「花と緑の里づくり」、「家でもやってみたいと思う花壇づくり」、「花を育てる楽しみ、ふれる喜びを共有」の三点を心がけながら活動しています。

## 2 春が楽しみ！

当地方銀行には、現在28名の会員が在籍し、例年6月と10月には、それぞれ夏花壇、春花壇の植栽を行います。そのための追肥・除草・水やりなど、手間ひまかかる作業ですが、労を惜しみません。

10月下旬、来春に向けチューリップやパンジーを植えている時、グリーンキーパー（以下、GK）の一人が「富山県はいいとこやねー」とポツリと言、「そうやねー」とそれに答える数人のGK、さらに、会話は「春が楽しみやねー」と続き…。

今年、各所で災害に見舞われた日本列島の中で、「災害の少ない富山ならこそ、花を植えることや花にふれることを存分に満喫できるんだ！」と、みなさんの喜びと感謝の気持ちを感じました。

このように、花を心から愛し、世話の手間をいとわないGKの活動が地域づくりにつながっています。

## 3 これまでの成果と今後

今年10月の「第47回花と緑の大会」において、富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰という大変名誉な賞を知事から頂きました。当地方銀行はこれまでも、平成21年に花と緑の銀行理事長表彰を、その他、小矢部市環境衛生協議会が主催する「花いっぱい運動花壇コンクール」におい

て数回にわたり表彰されています。

また、地域住民からもねぎらいの言葉を受けることが多々あり、これらは長年にわたり、地域に密着し環境美化・緑化推進に貢献してきたGKらの地道な活動の成果と思っています。

華々しい成果の一方で、GKの高齢化という課題もあります。当地方銀行では70歳以上のGKは全体の90%を超えており、若い後継者の加入が望まれます。他の地方銀行でも同様の悩みを抱えているのではと拝察しますが、花に興味があり、花を愛する若い男女は多いと思います。

この課題に対しては、地区民の理解と協力を得るとともに、他の支店・地方銀行の取り組みに学びながら、解決を図っていきたい。そして、今回の受賞を糧とし、より一層のうるおいと安らぎに満ちた地域づくりを目指し、メンバーの一人ひとりが研鑽を積んでいきたいと思っています。



写真1 水島フラワーレーン花壇（水島公民館周辺）4月下旬



写真2 来春に向けて

10月下旬

# 「全国花のまちづくりコンクール」で入賞

本年の第29回全国花のまちづくりコンクールにおいて、富山市立船峠小学校が「花のまちづくり優秀賞（推進協議会長賞）」、射水市立塚原小学校が「花のまちづくり奨励賞（審査委員会賞）」をそれぞれ受賞されました。

## 1 全国花のまちづくりコンクールの概要

コンクールは全国花のまちづくりコンクール推進協議会が主催して、平成2年の「国際花と緑の博覧会」の開催以降、「花のまちづくり運動」を全国的に普及啓発するために毎年、実施されています。

本年の応募総数は1,543件で、大賞5件、優秀賞9件、奨励賞11件など54件の受賞があり、10月24日に東京で表彰式が執り行われました。

## 2 船峠小学校の活動概要

富山市大沢野の船峠台地にある、児童数が54人の小規模な小学校です。花壇づくりは昭和50年頃（1975）より44年間取り組んでいます。



ウインドガーデン

本年度の県花のまちづくりコンクール（学校花壇）で、最優秀賞を受賞なさっています。

### （花壇の特長・取組み）

・「ドリームガーデン」と「ウインドガーデン」の2つのメインの花壇（約350㎡）があります。

・「ドリームガーデン」は、1年生から6年生までの縦割りグループで、学校の特徴である異学年交流活動の一つとして取り組まれています。校舎から各班の花壇が望め、子供たちの花園となっています。

・6年生が低学年に花の名前や育て方をやさしく教えながら、班ごとにテーマ・デザインを決め、花苗の選定、土づくり、花柄摘み、追肥などのお世話をします。花に詳しい上級生は、小さな子供たちの憧れの的なのです。

・「ウインドガーデン」は校舎の正門にあり、栽培委員が中心となって花壇づくりに取り組み、来校する父兄や地域の方を元気に迎えてくれます。



写真1 船峠小学校 ドリームガーデン 2019.7月  
県コンクール審査時

・毎朝、班のみなさんでお花の世話をし、夏休みにも保護者の協力のもと、子供たちや先生方が水やりを行い、全校が一つになって取り組んでいます。  
・6年生が中心となり、押し花づくりを地域の方に教わり、作品を地域の行事に出品するなど、地域との交流を深めています。

## 3 塚原小学校の活動概要

射水市新湊の田園地帯にある児童数143人の小学校です。昭和56年（1981）より、校舎南側の空き地を父兄の協力により整備を進め、平成27年（2015）、現在の場所に学校花壇（175㎡）が誕生しました。今では、「塚原っ子花壇」として近隣の保育園児や地域の方にも親しまれる、笑顔あふれる交流の場となっています。



花壇全景

本年度の県花のまちづくりコンクール（学校花壇）で優秀賞を受賞なさっています。

### （花壇の特長・取組み）

・栽培委員が中心となり、花壇デザインを全校児童から募集し、花苗の植え付け、水やり、除草などを管理当番を決めて行っています。

・夏休み中には、地区ごとの縦割りグループで花壇の世話をし、先生方やPTA、地域ボランティアの方が土づくり、追肥作業など手助けをしています。

・運動会の団ごとに花の種類を決め、団ごとの縦割り班で一人一鉢の花苗を育て、図工室の大きな外壁面を彩っています。

・感謝の集いでは、地域の方々に手紙を添えた花の種や、手作りのしおりをプレゼントし、他に学校花壇での米作り、放課後子供教室など、地域とのつながりを深めています。

・様々なグループでの栽培活動を通して、子供たちの中での思いやりや、地域の方とのつながり、植物を育てる素晴らしさを感じ、命を大切にすることや地域を愛する心が育まれています。



写真2 塚原小学校 塚原っ子花壇 2019.7月  
県コンクール審査時

# とやまの花壇 ～五ヶみち花壇～

富山県内には、地域の皆さんが丹精込めて管理育成されている素晴らしい花壇があふれています。癒しとインスタ映えのスポットに、是非、ご来訪下さい。

## 1 花壇の特色

砺波市の旧庄川町にある五ヶみち花壇は、庄川温泉郷に至る県道沿いにあります。里山と屋敷林の景観をバックにした、「とやま」らしい花の道です。

### <主な表彰歴>

- H23,27,29 県花のまちづくりコンクール（花の道） 最優秀賞
- H30 県花のまちづくりコンクール（花の道） 特別賞
- R1 県花のまちづくりコンクール（プレミアム）最優秀賞

## 2 活動概要

### （1）取組み

2000年とやま国体で旧庄川町が剣道会場となったことから、全国の選手をお迎えしようと、平成9年（1997年）から道路沿いをプランターで飾るなど、花壇づくりが始まりました。

現在、自治会や児童クラブ、長寿会、穂のほの会（女性部）、グリーンキーパーら、地域の各種グループの会員約60人で、地区住民の親睦・憩いの場として、花壇づくりに励んでいます。

植栽時には会員総出でワイワイと行い、土づくりや日常の水やりなどは主に10名のグリーンキーパーが中心になって取り組んでいます。

### （2）花壇の管理とくふう

全長150m、宅地通路を挟み6つの区画と3か所のコンテナで構成されています。土づくり、苗づくり、そして、地域づくりをモットーに努めています。

- ① 花壇管理の省力化を図るため、花苗植付後に、もみ殻堆肥の敷き込みを実施しています。土壌の膨軟化、栄養分補給に加え、乾燥防止、雑草抑制に効果を発揮しています。
- ② プラグ苗からの花苗づくりに5年前から取り組んでいます。年間、自家生産苗 約650苗に、市からの支給苗 約700苗などにより、花苗の購入費はほとんどありません。また、余剰苗は、地域の方に利用してもらい、五ヶみち花壇だけでなく地域全体の「花と緑のまちづくり」に役立っています。
- ③ 花壇づくりの活動だけでなく、地域内の農地・水・環境保全事業のグループなど、いろいろな集まりと情報交換や相互協力を図り、閉じた活動にならないように努めています。



写真2 全長150mの季節とともに移ろう花模様 2019.8月

## 3 おもい

花壇づくりも20年以上になりました。今では、私たちの花壇を目当てに遠回りして下さる県内外の方をたくさん見かけます。

これからも、初夏から梅雨、盛夏へとみんなで植えた小さな花苗が成長し、季節とともにおりなす花模様を五ヶみちを往来する方々に楽しんでもらい、ほんのひと時でも和んでもらえれば一、そんなことを心掛けて地域の皆さんと花壇づくりをしていきます。それが、私たちの日々の活力にもなっていくと思っています。

（以上、五ヶみちグループの寺井昭信さんに、お話を伺いました。また、銀行だより210号の倉田伸子さんの記事も参照下さい。）



写真1  
もみ殻堆肥の敷均し、  
プラグ苗づくり

### ○花壇の概況

- ・規模 延長150m
- ・見頃 7月～9月
- ・世話人 五ヶみちグループ
- ・住所 砺波市庄川町五ヶ（県道沿い）



# ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 高岡支店

戸出地方銀行 グリーンキーパー 太田 清

私は初日の研修日を忘れて欠席した不良生徒です。土いじりの全く知らない街育ちの私が、22年前、小さいながらも庭付きの、周りがほとんど農家のところに越してきて、少しでも地域に溶け込みたいと、運動広場の花壇の担当の末席に入れていただきました。

光明寺の花と緑のグループには、グリーンキーパーは数年前まで3人いたのですが、皆さん亡くなられ、長く不在でした。グリーンキーパーの役割は何をするのか、周りの誰も知らず、吉田 敏さんと私が在所のグリーンキーパーとして勉強することになり、私が銀行主催のステップアップ研修に参加することになりました。

今回の研修に参加して、植物の神秘をいろいろ知りました。花壇を作るにあたっての配色に始まり、花壇づくりの基本をいろいろ教えていただきました。植栽の面白さも知りました。毎年、同じ苗を同じように植えていた、従来の花壇が恥ずかしく思います。今後は、あれこれ工夫をして、私たち自身も、そして地域の皆さんにとっても、楽しい花壇づくりをしたいと思います。

研修では、長野県大町市にある「ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン」を訪れることができました。

庭園は花の種類が豊富で、配色も素晴らしく、植物が風で倒れない工夫やイーゼルを利用した花台など、いろいろ工夫してあるのが見られ、感心しました。私たちの運動広場がスポーツ（ペタンク）の場だけでなく、多くの人が集まる憩いの場として、地域に貢献するよう植栽を工夫していきたいものだと思います。



写真2 現地視察 大町市  
「ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン」

研修で花壇づくりのいろはを教わった島先生のお話は、植栽のことを何も知らなかった高齢の私にもよく理解できる内容で、感謝でいっぱいです。花壇実習を共に行った班の方にもいろいろ教えていただきました。他の班の方々とも視察研修などで親しくなり、とても楽しい日々を過ごしました。

研修スタッフのお世話もありがとうございました。研修終了後も植物園に相談に伺ってもよろしいでしょうか？（← いつでもお待ちしております。70歳以上の方は、植物園はいつでも無料ですよ。）



デザイン研修 4/17、24



土づくり 5/8



植栽作業 5/22



土壌pH測定



寄せ植えづくり



花壇メンテナンス実習 8/6、9/25  
写真1 花壇実習の日々



ポット苗づくり  
写真3 室内実習の数々



こけ玉づくり



## 花のあるまちづくり

花と緑の銀行 黒部支店

生地地方銀行 頭取 吉田 允

生地地区は、黒部市の北東部に位置し、こんこんと湧き出る清水に恵まれ、生地浜や黒部漁港を有しており、毎年たくさんの方々に来訪いただいています。当地区では、花と緑の銀行生地地方銀行の頭取と11名のグリーンキーパーを中心に、生地フラワー友の会や神明町老人会の有志の皆さまの協力のもと、地域の方々はもとより、生地のまちに来訪された多くの方々を「花のある町で迎えよう」をモットーに、地域花壇の花づくりに取り組んでいます。

私自身は、平成16年から生地地方銀行頭取と生地フラワー友の会会長を務めており、今年で16年目となります。就任2年目の平成18年には、黒部漁港に隣接する名水公園の花壇のリニューアルに伴い、地元にある生地小学校の1年生とともに花苗の定植を行いました。以降毎年、新しく生まれ変わった名水公園の花壇を花で飾り、訪れる地域の皆さんや子供たちに親しんでもらえる公園となるよう活動しています。

また、平成28年には、第43回富山県花のまちづくりコンクール一般花壇の部において優秀賞をいただきました。生地のまちが「花と水のまち」として、住民はもとより訪れた人たちにも楽しんでいただいていることが活動の励みとなっています。

このほか、生地地区では、清水庵の清水花壇、置県百年記念花壇、生地コミュニティーセンター花壇など、まちの各所の花壇での花づくりを行っています。地方銀行、フラワー友の会ではメンバーそれぞれが何をできるかを考え、また、「花づくりで健康づくり、生きがいづくり」を合言葉に活動しています。

これまでの活動の経験から、

「まちは見られて美しくなる

人は見られて元気になる」

という事を実感しています。

こうした意識を一人でも多くの人と共有し、継続的に活動していくことで、地域の活性化の一助になればと願っています。



写真1 児童と一緒に、名水公園花壇での花苗の定植



写真2 清水庵の清水花壇  
～ 松尾芭蕉翁が越中巡遊の途中、「清水庵」と名付けたと言い伝えがあります。

## 報告コーナー

- 富山県花と緑の祭典2019「第47回花と緑の大会」を開催
- ・「第47回花と緑の大会」を10月30日(木)、県民会館において開催しました。石井隆一知事(名誉会長)、高木茂雄・緑花推進県民会議会長はじめ、多数の来賓や頭取・グリーンキーパーの皆さんなど、約600名に参加いただきました。
  - ・大会では、花と緑の功労者表彰(知事表彰 2個人4団体、理事長表彰 23個人4団体)、県花と緑のコンクール入賞者表彰(11個人26団体)が行われました。また、コンクール入賞作品・花壇写真の展示も同時に行いました。



緑花功労者表彰

- ・花と緑の講演会では、安藤敏夫氏(千葉大学名誉教授)による、①「花を栽培する楽しさ」とは、また異なった「花を創る、育成する楽しさ」、②とくに生産者育種(花の愛好家による)のステージを分かりやすく解説—「まかぬ種は生えぬ」など—、講演いただき、花の魅力・面白さをさらに深めることができました。



花と緑の講演会(安藤敏夫氏)



富山県花と緑のコンクール入賞作品展

## ● 頭取・グリーンキーパー研修 ○ フラワーグリーンパス研修開催

- ・10月10日(水)、「まちづくり宮ノ下地区委員会コスモス公苑」(福井市)への視察研修を行い、85名の方に参加いただきました。
- ・視察先は、昨年度の全国花のまちづくりコンクール大賞を受賞されている地区で、H5年(1993)より、休耕田にコスモスを作付けし、今では17.5haの広大なコスモス公苑として、約3万人の人出で賑わう「コスモスまつり」を地区を挙げて開催するなど、農村地区の活性の模範となる団体でした。
- ・①地区内の各種団体で構成する委員会の立ち上げ、運営、②田んぼを所有する数十軒の農家の意見のとりまとめ、③広大な面積でのコスモスの栽培技術、④予算の確保など、活動のためのたくさんの苦労話をお聞きすることができました。



## ○ ステップアップ研修終了

- ・4月中旬から11月下旬にかけ、延べ16日・20講座を実施したステップアップ研修が終了しました。
- ・毎回、花壇実習を中心に、猛暑の中も熱心に受講された24名(受講生全員)の方に修了証を交付しました。受講された皆さんの各地域でのご活躍を願うとともに、次年度の本研修への参加をお待ちしています。

令和2年度 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修の受講募集は、3月上旬より予定しています。受講対象は、未受講の現任の頭取・グリーンキーパーさんです。各支店(市町村担当課)までお問い合わせ下さい。

## 🌸 お知らせコーナー (1月~3月の主なイベント)

### 🌿 「花とみどり・ふれあいフェア」開催

- 日時 令和2年2月29日(土) 10:30~17:00  
3月1日(日) 10:00~16:00
- 場所 フューチャーシティーファボーレ(富山市婦中町下轡田165-1)
- 主な内容

#### (1) 花と緑の展示コーナー

- ・とやまの花品評会、県ゆかり花・育成品種
- ・花飾り「ツーショットスポット」ステージ花飾り
- ・コンテナガーデンコンテスト作品
- ・「わたしの寄せ植え」出展作品
- ・花と緑のコンクール入賞作品展 など

#### 🌿 「わたしの寄せ植え」出展募集中

- ・展示期間 2月25日(火)~3月1日(日)
- ・展示場所 「花とみどり・ふれあいフェア」会場
- ・表彰式 2月29日(土)10:30~フェア会場
- ・申し込み受付 1月24日(金)まで必着
- ・入賞者へ賞状、副賞を授与します。
- ※ 詳細・申込書は、銀行HPをご覧ください。(お問い合わせ・お申し込みは、銀行・緑花推進部まで)

- (2) 花と緑の体験コーナー
  - ・県産花きを楽しむ体験教室（生け花、花束づくりなど）
  - ・緑に親しむ体験コーナー（木工クラフトなど）
- (3) その他
  - ・花の種 無料貸し出しコーナー
  - ・お楽しみ抽選会
  - ・各種花と緑の関連品目の展示・販売 など

### 富山県中央植物園

- 第7回クリスマスローズ展 2月22日(土)～24日(月・祝)
    - \*栽培講習会(当日受付)：22日(土)・23日(日) 13：30～15：00
  - 第48回富山県蘭まつり大会 3月6日(金)～8日(日)
    - \*栽培講習会(当日受付)：7日(土)・8日(日) 10：30～12：00, 14：00～15：30
  - 第16回雪割草富山県大会 3月13日(金)～15日(日)
    - \*栽培講習会(当日受付)：14日(土)・15日(日) 13：30～15：00
- (詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

### 県民公園 頼成の森

- 竹スキーづくり教室 1月19日(日) 9：30～12：00 定員：20名 参加費：400円
  - 守り人と歩く頼成の森(冬編) 2月2日(日) 9：30～13：00 定員：30名 参加費：400円
    - <冬の森の中を探検> \*雪中散策、きのこ汁賞味など
  - 守り人と歩く頼成の森(早春編) 3月22日(日) 10：00～11：30 定員：15名 参加費：無料
    - <キンマメザクラ観察会> \*早春の山に咲く桜を探索
- (詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。)



射水市 小杉西部保育園 7月

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
 〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
 TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
 〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
 TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
 〒939-1431 砺波市頼成156  
 TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 214号

発行日 令和2年(2020年)1月  
 再生紙を使用しています。